

**鹿屋** 伝統の舞「刀舞」を披露



8月5日、高須町で、市の無形民族文化財に指定されている伝統の舞「刀舞」が披露されました。

刀舞は、5つの舞(長刀舞、刀舞、弓舞、田の神舞、鬼神舞)の総称で、100年以上の歴史を持つ伝統行事。勇壮な長刀舞を先頭に、小学生が踊る刀舞、中学生が踊る弓舞、こっけいな踊りで笑いを誘う田の神舞、そして最後に鬼神面をかぶり豪快に踊る鬼神舞が続く約100人の行列は、真夏の炎天下のなか沿道の観客の声援を受け、汗だくになりながら4時間ほどかけて町内約4kmを練り歩きました。

**鹿屋** 文化財ウォッチング 火興しや土器の野焼きを体験



7月24日、8月8日・9日の3日間、市内の小学生4～6年生を対象にした文化財ウォッチングが開催されました。

これは、古代の生活を感じ、文化財に対する理解と愛護精神を育ててもらおうと毎年行われているもので、28人が参加。初日は粘土で土器を作り、2日目は花岡地区の文化財の見学、火興しや土器の野焼きを体験。最終日には、前日野焼きした土器を取り出しました。参加した児童は、完成した土器を手に「来年も参加したい」と感想を話してくれました。

**鹿屋** 真紅の優勝旗を寄贈



鹿屋市獣医師会(西村勇次会長)が鹿屋市秋季畜産総合共進会に新調した優勝旗を寄贈しました。

この優勝旗は、これまで使用していた物が古く、痛んでいたことから寄贈されたもの。8月29日に開催された市秋季畜産総合共進会で、和牛の生産者で組織する和牛振興会員に初披露され、同共進会の団体の部で見事優勝した高隈支部に真紅の優勝旗が手渡されました。

**鹿屋** トンネル事故を想定して訓練



8月29日、国道220号郷之原トンネルで、複数車両による災害事故を想定した訓練が行われました。

これは、防災の日と道路ふれあい月間の行事の一環として2年毎に行われているもので、国交省大隅河川国道事務所、大隅肝属地区消防組合、海上自衛隊、鹿屋市医師会など10関係機関が連携して、本番さながらの迅速な救出救護活動が実施されました。

**鹿屋** フィジーでの活動を報告



8月20日、青年海外協力隊員としてフィジーで2年間の任務を終えた川畑ひとみさん(旭原町)が市役所へ帰国報告に訪れました。

川畑さんは、フィジーのラウトカ市で、障害のある生徒に洋裁や料理などを教える仕事に従事。「一番の苦勞は、仕事での言葉のやりとりでした」と振り返り、「今後は子どもたちと関わりのある仕事をしたいです」と話してくれました。

**輝北** 通学路に防犯灯を!



8月25日、鹿屋肝属電気設備協同組合が輝北地区の通学路に無償で防犯灯を5基設置しました。

これは、次代を担う子どもたちを犯罪から守るとともに、地域の防犯に役立ててもらおうと同組合が、ボランティア活動の一環として毎年市内の各地区で行っているもの。今後、子どもたちの通学時の安全に貢献するものと期待されています。

**吾平** 今年のテーマは「昔へタイムスリップ!」



8月19日、吾平振興会館で、昔へタイムスリップ!をテーマに読書まつりが開催されました。

読書まつりは、子どもたちに昔話を身近に感じ、親んでもらおうと行われたもので、70人が参加。当日は、吾平町に伝わる民話や大型紙芝居の読み聞かせなどが行われ、参加した子どもたちは、初めて聞く話に熱心に聞き入っていました。

**鹿屋** 家庭教育講演会兼読書指導者等研修会を開催



8月22日、市文化会館で鹿屋市家庭教育講演会兼鹿屋市読書指導者等研修会が開催されました。

当日は、県立図書館長による講話や読み聞かせの実演などのほか、金子みすゞ記念館館長で童話作家の矢崎節夫氏による「あなたはあなたでいいの」と題した講演が行われ、約1,000人が参加。参加者は、家庭教育の中での読書や言葉の大切さを再認識していました。


**鹿屋** 115頭の子ガメが元気に海に帰る



波などで流失しないよう浜田小学校と高須小学校のそれぞれの人口ふ化施設で、保護されていた卵からふ化した子ガメ115頭を海に帰す帰海観察会が行われました。

8月20日は浜田海岸で、8月30日には高須海岸で行われ、大勢の子どもたちが見守る中、体長8cm程の子ガメは、波に押し戻されながらも元気に海に帰って行きました。

**鹿屋** アマチュアバンド24組が出場



8月26日、市文化会館でアマチュアバンドのパフォーマンスを競うサマーミュージックフェスティバルが開催されました。

当日は、アマチュアバンド24組が出場し、歌と演奏を披露。一般の部は、アップテンポなリズムで観客と一体となった「electric humanoid」が、ティーンズの部は観客の心に響くバラードを歌った「僕等」が大賞に輝きました。

**鹿屋** 地域住民と交流を深める



8月9日、星塚敬愛園で夏祭り納涼大会が開催されました。

この祭りは、入所者と地域住民に交流を深めてもらおうと開催されているもので、今年で30回目。同園の入所者や職員などによる踊りやカラオケが披露されたほか、夜空を鮮やかに彩る花火も打ち上げられ、入所者は地域住民と一緒に祭りを楽しみながら交流を深めていました。